

## 研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号： 17-233

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

- ・ 研究課題名：子宮癌肉腫に対するHER2標的化治療開発へ向けた検討
- ・ 目的：埼玉医科大学国際医療センターならびに国立がん研究センター中央病院において診療を受けた子宮癌肉腫の約150例において、HER2タンパク発現に関してASCO/CAP（American Society of clinical Oncology/College of American Pathologists）のガイドラインに基づいた方法でIHC法による組織染色ならびにFISH（Fluorescence in situ hybridization）法による遺伝子発現解析を実施し、その分子病理学的意義と治療標的（化学療法標的）としての可能性について検討する。
- ・ 研究期間：2018年 1月 10日～ 2018年 12月 31日
- ・ 研究対象：2010年 4月 1日～ 2017年 3月 31日

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

手術時または診断目的の生検時に取得され、現在保管されているホルマリン固定パラフィン包埋標本

③ 利用する者の範囲

|                |        |            |
|----------------|--------|------------|
| 埼玉医科大学国際医療センター | 婦人科腫瘍科 | 西川忠暁、長谷川幸清 |
| 埼玉医科大学国際医療センター | 病理診断科  | 安田政実       |
| 国立がん研究センター中央病院 | 乳腺腫瘍内科 | 西川忠暁、米盛勸   |
| 国立がん研究センター中央病院 | 病理科    | 吉田裕        |

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 助教 西川忠暁